

がんばれ宮城！水産業による復興支援



宮・宮の絆イベント

CONTENTS

FISHING POLITICS

漁政

平成23年度
第2回漁政対策委員会

料理講習会開催

平成23年度定期組合長会議

漁業就業者支援フェア

全近かつ協・事務局長会

売船案内（日南市漁業協同組合）

平成23年度上半期漁業生産統計

FISHERY MANAGEMENT

漁協経営情報

平成23年3月決算漁協通常総会

BUSINESS

業務情報

東北地方における燃油積込み体制

「宮崎初かつおフェア2011」報告会

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報

宮・宮の絆イベント

第62回通常総会開催

東日本大震災に伴うボランティア活動

義援金贈呈式

人事異動

平成23年度第1回監事会

平成23年度第2回理事会

冷汁・シイラ天ぷらフェア

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場

環境・生態系保全活動について

6月の動き（県関係）

RELATED ORGANIZATION

関係機関

宮崎県演習場対策協議会通常総会

宮崎県水難救済会通常理事会・総会

宮崎県漁協青壮年部長・事務担当者会議

6月の動き

水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラからA4サイズで出力出来ます。



FISHING POLITICS

平成23年度 第2回漁政対策委員会

宮 崎県漁政対策委員会(会長 丸山英満)は去る平成23年6月8日(水)、第2回漁政対策委員会を開催した。協議内容は下記の通り

協議事項

1. 政治団体設立について
2. その他

料理講習会開催



去 る6月8日、宮崎県立都城農業高等学校において料理講習会を開催した。南郷漁協女性部2名を講師に迎え、ライフデザイン3年生、職員24名が参加した。かつおを捌くところでは、頭の骨がなかなか切れなかったり、包丁の入れ方に苦労したりしていたが、ケガもなく実習を行うことが出来た。

6月22日には、高城高校にて開催し、日南市漁協女性部3名にご協力いただき、生活情報科38名が参加した。講師の捌きの場面では、内臓を取り出す際に心臓や胃の中の餌であるイワシを取り出して見せたり、漁法についての説明も織りまぜ、生徒達は食い入るように



見入っていた。実習ではかつおまるごと1尾を悪戦苦闘しながらも一生懸命調理していた。

かつおのたたき・かつお飯・かつおカツを作り、出来上がった料理の普段とは一味も二味も違う魚のおいしさに顔をほころばせる生徒ばかりだった。

平成23年度 定期組合長会議

6 月20日(月)、水産会館大研修室において平成23年度定期組合長会議が開催された。議案は次のとおりで、全議案とも異議無く承認された。

1. 平成22年度活動状況及び収支決算書の承認について
2. 平成23年度事業計画及び収支予算書(案)の承認について
3. 平成22年度ロケット打上げに係わる協力謝金の配分(案)の承認について
4. 役員改選について
5. 政治団体設立について
6. その他



FISHING POLITICS

漁業就業支援フェア

平成23年6月25日(土)大阪市にて、全国漁業就業者確保育成センター主催で、漁業就業支援フェアが行われた。

本県からは、県漁村振興課、県漁連、県漁業就業者確保育成センター、日南市漁協、栄松漁協職員が参加し、合計6名の就業希望者と面談を行った。

全近かつ協・事務局長会

全国近海かつお・まぐろ漁業協会(会長 三鬼則行)は、平成23年6月9日(木)～10日(金)東京都千代田区神田フォーラムミカサ8階会議室において、第1回近海マグロ漁業問題検討会及び第1回漁船マルシップ制度対策協議会を開催した。

(1)第1回近海マグロ漁業問題検討会

1. 議題

- (1)メバチ・キハダの規制措置について
- (2)太平洋クロマグロの保存管理措置について
- (3)条約オブザーバーの導入について
- (4)福島原発放射能調査について

(2)第1回漁船マルシップ制度対策協議会

1. 議題

- (1)漁船マルシップに係る配乗基準及び定員について
※7月28日、宮崎県水産会館において、マルシップ関係宮崎地区の海員組合懇談会を開催することとした。
- (2)労働協約書の改訂について
- (3)外国人船員の航海当直取得の進捗状況について
- (4)全近かつ協所属マルシップ漁船の会員制の管理責任者について
- (5)インドネシア船員事情の現地調査について
- (6)外国人船員の表彰について
- (7)外国人船員の休憩施設設置の要望(銚子)について

売船案内 (日南市漁業協同組合)



船名	幸和丸
船質	FRP船
トン数・馬力	3.7トン・70PS
長さ×幅×深さ	8.80m×2.10m×0.90m
機関の種類	いすゞマリン製造(株) UM6BG1TC2
進水年月日	昭和54年6月1日
設備	無線(1W)・魚探・GPS 自動操舵
お問い合わせ先	
日南市漁業協同組合	0987-23-211
船主(高橋 和昭)	0987-29-1426

平成23年度上半期漁業生産統計

漁協名\漁業種類名	かつお一本釣	まぐろ延縄	旋網	曳縄	底曳網	船曳網	定置	養殖	その他	合計	属地水揚げ
北浦			15,100		77		272	15	18	15,481	8,962
			888,786		26,895		71,624	23,585	7,971	1,018,861	522,144
島浦町		270	3,601	33			269	279	7	4,458	4,156
		224,979	178,444	24,866			39,389	258,397	22,635	748,710	385,148
延岡				22	5	123	0		70	220	163
				7,809	2,403	32,451	236		11,556	54,454	37,616
延岡市	178			4	52	31	223	6	44	539	248
	51,948			1,959	17,588	8,589	90,454	7,358	52,963	230,859	109,919
庵川	57	270	104	3	18		177	50	22	701	446
	26,207	188,719	20,514	1,578	9,146		46,509	29,760	13,902	336,335	156,834
門川	22	131		17	46	32			1	21	269
	6,856	72,865		8,058	15,924	6,431		855	13,312	124,301	63,268
日向市	237	1,446		36	2	0	333		89	2,142	713
	96,449	1,001,046		21,539	909	88	61,700		35,939	1,217,671	306,631
都農町		166		3	0				82	251	79
		96,221		881	3				39,072	136,177	34,771
川南町		1,495		97	10				470	2,072	576
		952,516		56,112	5,287				110,995	1,124,909	171,903
一ツ瀬				9	8				79	95	95
				8,102	4,976				48,804	61,882	61,882
憶浜					7	33			14	54	54
					3,426	6,246			8,824	18,496	18,496
宮崎		250				257			51	558	308
		128,333				50,786			27,981	207,100	78,767
宮崎市		168	95	50	29	46	15		94	471	172
		102,292	28,567	25,843	15,643	7,250	10,720		35,881	218,100	66,082
日南市	3,721	1,107		92			71		119	5,109	1,525
	1,078,837	548,302		37,400			40,692		50,642	1,755,873	1,036,806
南郷	8,725	899		224			448		60	10,311	1,631
	2,566,599	563,840		111,316			159,784		31,666	3,417,952	529,713
栄松	753	108		26					4	891	
	230,459	60,946		14,876					1,989	308,270	
外浦	3,468	195					130		7	3,800	0
	988,975	111,551					52,172		2,523	1,155,222	844
串間市東		42		115			874		40	1,071	52
		34,520		52,568			204,394		22,824	314,305	13,331
串間市		136		8	8	18	39	3,320	18	3,548	1,328
		73,711		4,285	3,334	28,588	12,481	1,874,963	31,020	2,028,383	745,732
合計数量	17,161	6,684	18,900	738	261	540	2,850	3,671	1,306	52,042	20,673
合計金額(魚価)	5,046,330	4,159,842	1,116,311	377,192	105,534	140,430	790,156	2,194,918	570,497	14,477,860	4,339,888
前年数量	13,773	8,280	18,672	840	317	598	1,806	3,471	818	48,575	23,369
前年金額(魚価)	4,496,220	4,964,940	1,217,552	424,155	131,581	217,713	655,549	2,112,218	561,444	14,781,371	5,720,937
数量増減	3,388	-1,596	228	-102	-57	-58	1,044	200	488	3,467	-2,696
数量対比(%)	24.6	-19.3	1.2	-12.2	-17.8	-9.7	57.8	5.8	59.7	7.1	-11.5
金額増減	550,110	-805,098	-101,241	-46,964	-26,046	-77,284	134,607	82,700	9,053	-303,511	-1,381,049
金額対比(%)	12.2	-16.2	-8.3	-11.1	-19.8	-35.5	20.5	3.9	1.6	-2.1	-24.1
魚価増減	-32	23	-6	6	-10	-104	-86	-11	-250	-26	-35
魚価対比(%)	-9.9	3.8	-9.4	1.2	-2.4	-28.6	-23.6	-1.7	-36.4	-8.6	-14.2

端数処理の関係で、下1桁が合わない部分があります。

♪海といっしょに 浜といっしょに♪

元気に暮らそう JF共済

チョコ くらし カサヤ リコー

ねんきん がんきん なぎさ年金

漁業協同組合・JF共済推進本部

<http://www.kyosuiren.or.jp>

平成23年3月決算漁協通常総会

3 月決算組合の平成22年度通常総会が一斉に開催され、平成22年度事業報告及び平成23年度事業計画等の提出議案を審議し承認決定した。
組織及び概況は次の通り。

1. 一ツ瀬漁協通常総会(6月14日)

正組合員数	26名
准組合員数	38名
購買事業の取扱高	2,199万円
販売事業の取扱高	1億1,313万円

2. 宮崎漁協通常総会(6月24日)

正組合員数	82名
准組合員数	36名
信用事業の貯金高	23億1,216万円
購買事業の取扱高	7,584万円
販売事業の取扱高	5億3,068万円

3. 串間市漁協通常総会(6月28日)

正組合員数	155名
准組合員数	4名
信用事業の貯金高	10億1,069万円
購買事業の取扱高	4億8,762万円
販売事業の取扱高	36億3,399万円

4. 宮崎市漁協通常総会(6月28日)

正組合員数	103名
准組合員数	42名
信用事業の貯金高	17億8,588万円
購買事業の取扱高	1億583万円
販売事業の取扱高	4億7,618万円

5. 串間市東漁協通常総会(6月29日)

正組合員数	92名
准組合員数	25名
信用事業の貯金高	9億3,449万円
購買事業の取扱高	6,412万円
販売事業の取扱高	4億8,159万円

人と自然との調和

粒状粉石けん
コンパクトタイプ

洗濯用液体石けん

わかしお を使おう!

資材の購入はJFグループ(漁協・漁運・全漁運)へ



東北地方における燃油積込み体制

3 月11日に発生した東日本大震災により東北地区は、壊滅的な被害を受けました。本県のカツオ・マグロ船の水揚げ基地でもあります塩釜、気仙沼港においても市場全体が壊滅し、全漁連のタンクも流されるなどの被害を受け4ヵ月余りが経過しました。

震災後、色々な方々の御支援を頂き、復興に向けて取り組んでいる中、7月3日には気仙沼港にて宮城、宮崎の両県及び本会を含む業界による気仙沼市復興応援企画[宮・宮の絆イベント]も開催されました。本県からも多数参加し、カツオ水揚げ式なども行われました。

このような中、気仙沼港においても、円滑に給油が出来る様に準備が進み、現在はタンク船3隻による給油体制が整いました。また、塩釜港はすでに市場が再開されており本県マグロ船の水揚げ入港が期待されているところで

す。完全復興には、まだまだ時間がかかるとは思いますが、本県船の積込み体制が円滑に遂行できるように全漁連と連携しながら対応していきたいと思っております。

今後とも、系統全利用への御理解と御協力を宜しくお願い致します。

「宮崎初かつおフェア2011」報告会

去 6月28日(火)「宮崎初かつおフェア2011」報告会(第二回宮崎初かつおフェア実行委員会会議)が開催されました。

今年の「宮崎初かつおフェア2011」は、本県が口蹄疫や鳥インフルエンザ、さらには新燃岳の降灰と、いろんな影響のある中に東日本大震災が発生するなど、厳しい環境の中で192店舗が参加する「宮崎初かつおフェア2011」となりましたが、その結果を次回に繋げる同報告会では、13名の委員と企画広告会社、特別協賛のJR九州宮崎総合鉄道事業部及び宮崎空港ビル(株)からお出で頂きました。

そこではまず、下野宮崎初かつおフェア実行委員会会長あいさつがありまして、引き続き事業実績の報告、次いで意見交換があり、出席者からそれぞれ意見を頂戴いたしました。

意見をいくつかご紹介しますと、「東日本大震災の影響で、4月は人があまり動かなくて、五月の連休から人の動きが活発となり、売り上げが目立つようになった。」、「今年の初カツオは臭みがなく美味かった。」、「PR不足と言われるが、予算が少ない中で足を使って努力している。」、「カツオのうまさを語る人が増え、これもフェア継続の成果と言える。」、「県民の目を引くイベントが入れられたら良い。」、「宮崎のカツオをこれからも九州の全店挙げて販売していきたい。」などの意見が出されました。

次に次回の宮崎初かつおフェアについて、協議をしまして、次回も宮崎初かつおフェアを開催することで意見が一致し、開催時期、事業予算については、次回の会議で協議することとなりました。

次に事務局から、感謝状贈呈の案件が提出されました。そして、宮崎初カツオが直接に事業活動に関係ないものの宮崎初かつおフェアの趣旨に賛同して御支援御協力を賜った5企業に感謝状を贈呈することが決定いたしました。

感謝状贈呈先

アサヒビール株式会社宮崎支店 殿

霧島酒造株式会社 殿

米良電気産業株式会社 殿

九州旅客鉄道株式会社宮崎総合鉄道事業部 殿

宮崎空港ビル株式会社 殿

後日、事務局により感謝状のお届を行いました。

なお、事業実績やアンケート結果など詳細は「宮崎初かつおフェア2011」事業報告書に掲載予定ですので、後日ご覧ください。

感謝状贈呈先



宮・宮の絆イベント

「帰ってきたど&待ってだでば」開催

平 成23年7月3日(日)10時より気仙沼魚市場及びホテル観洋において、がんばれ宮城！水産業による復興支援事業の一環として、東日本大震災で被災した気仙沼港での水揚げ再開に伴い、宮崎が業界・行政あげて、例年通り気仙沼に帰ってきたことを広くアピールするため、宮・宮の絆イベント「帰ってきたど&待ってだでば」を開催した。

6時にホテルを出て、陸前高田の被災状況を視察し気仙沼へ向かう。被災地では瓦礫等がまだそのまま残っているところもあり、震災被害の甚大さを目の当たりにした。気仙沼到着後、気仙沼魚市場において10時より、本県関係者並びに宮城県・気仙沼市・魚市場関係者約120名が出席しカツオ水揚げ式が開催された。

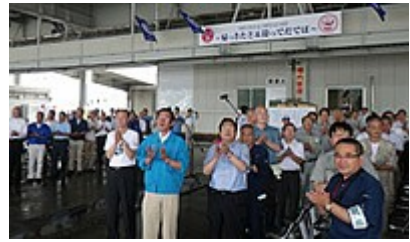


震災被災者に対する黙祷の後、みやざき丸が着岸、入札ベルを合図にカツオ水揚げ式が開会された。河野鯉船主会長の「かえってきたど宣言」にたいし、気仙沼漁協佐藤組合長より「待ってだでば」とカツオの水揚げを復興への足がかりとしたいという強い思いがかえされた。本県産品を積んだトラックが入場、河野知事より宮城県村井知事へ目録の贈呈が行われ、河野県知事、谷口日南市市長、村井県知事、菅原気仙沼市長がそれぞれ挨拶を行った。みやざき丸よりカツオを水揚げし、トラックに積み込み出発を見送った。谷口市長より菅原市長に桜の苗木贈呈を行った後、カツオの刺身、かつおにぎり寿司が来場者に振るまわれた。最後に気仙沼魚市場買い受け人協会大島理事長のがんばろうコールで閉会となった。



11時30分より会場をホテル観洋に移し、元気水揚げ式が開催された。ホテル観洋に避難している被災者の昼食としてカツオをはじめ本県特産物が振る舞われた。気仙沼市観光課挨拶の後、郡司農政企画課長の進行によりイベントが進められた。かつお刺身、かつおにぎりに協力頂いた、地元の大政すし様他の紹介、持ちとどけた本県特産物の紹介の後、丸山会長が挨拶を行い、被災者の皆様に昼食が振る舞われた。

イベントの概要は次の通り



第1部 かつお水揚げ式

主催	宮城県及び宮城県の行政・業界の共催イベント
日時	平成23年7月3日(日) 10:00~11:00
会場	気仙沼市場
参加者	本県業界、気仙沼漁協関係者、商工会議所、宮城県(知事ほか) 日南市(市長ほか)、宮城県(知事)、気仙沼(市長)等々
概要	イベント当日に水揚げを行う漁船が「今年も気仙沼に帰ってきたど」旗、宮城県旗を掲げて気仙沼港の市場岸壁に着岸した後、市場セリ開始ベルを合図に式典開始。

1. 開会
2. 帰ってきたど宣言(宮崎県かつお船代表)
3. 待ってだでば宣言(気仙沼漁協長)
4. 宮崎県品贈呈式(宮崎県知事宮城県知事)
5. あいさつ
宮崎県知事、日南市市長、宮城県知事、気仙沼市長
6. カツオ陸送トラック出発
7. 宮崎県からのふるまい(カツオ)および再生復興記念植樹
8. 閉会

第2部 元気水揚げ式

主催	宮崎県の行政・業界の共催イベント
日時	平成23年7月3日(日) 11:30~14:00
会場	気仙沼市付近避難所
参加者	宮崎県(行政・業界)
概要	口蹄疫等のご恩返しをかねて、被災者避難所を訪問し、県産花きの贈呈および県産農畜水産物を使った炊き出しを行う。

1. ふるまい(県産農畜水産物を食材とするふるまい)
2. あいさつ
宮崎県代表者により避難所の人たちに言葉
3. 県産スイートピー贈呈
宮崎県代表者から避難所代表に贈呈

第62回通常総会開催

漁 連は去る6月20日(月)に宮崎県水産会館大研修室において第62回通常総会を開催、議長に日高光明延岡漁業協同組合長を選任し、以下の議案について審議され、提案した議案及び特別決議(案)は全議案とも原案どおり承認された。



第一号議案	平成22年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分(案)、注記表の承認について
第二号議案	平成23年度事業計画及び収支計画(案)の承認について
第三号議案	平成23年度指導事業賦課金の額及び徴収方法の決定について
第四号議案	役員報酬の支給について
第五号議案	平成23年度内借入金の最高限度額決定について 金10億円
第六号議案	役員退任慰労金の支給について
第七号議案	第14次中期経営計画について
第八号議案	役員選任について

任期満了に伴う役員選任の結果下記のとおり役員が決定した。

所属団体	区分	氏名
北浦漁業協同組合	理事	宇戸田定信(再任)
日向市漁業協同組合	理事	是澤善幸(再任)
都農町漁業協同組合	理事	児玉隼人(再任)
宮崎市漁業協同組合	理事	矢部廣一(再任)
南郷漁業協同組合	理事	浅野鐵男(新任)
外浦漁業協同組合	理事	丸山英満(再任)
宮崎県漁業協同組合連合会	員外理事	妹尾秀彦(再任)
延岡市漁業協同組合	監事	谷口安博(再任)
川南町漁業協同組合	監事	溝口吉治(再任)
串間市東漁業協同組合	監事	近藤守(再任)

特別決議「燃油税制に係る特別措置に関する特別決議(案)」について。

東日本大震災に伴うボランティア活動

「み やざき県民復興協力隊」災害ボランティア活動は、みやざき感謝プロジェクトの一環として、東日本大震災の復興支援のため、県、県市長会、県町村会、県社会福祉協議会、県経済団体協議会の主催により、100人規模(全5班:各班20人)の派遣を行うものであり、「みやざき県民復興協力隊」の第1班(6/6~11日)、第2班(6/13~18日)に参加し、福島県いわき市で災害ボランティア活動を行いました。



隊員は、「口蹄疫、鳥インフルエンザ、新燃岳などでご支援いただいた恩返しをしたい。」「被災された方々に勇気と希望を届け、一日でも早く笑顔で暮らせる生活が送れるようお手伝いしたい。」との熱い思いをもって懸命に支援活動に取り組みました。いわき市内では、市街地部分は道路以外はさほど被災は目立ちませんが、通称「浜通り」と言われる海岸部は被害が激しく、なかには壊滅的と思われるほどの地区もあり、いまだ人影の見えない集落部に立っていると、津

波の破壊力に驚かされるばかりです。

なお、いわき市では今回の震災で、死亡、行方不明の方は300人以上に及んでいます。
 私達の活動は、ガレキ処理等を中心に多岐にわたりましたが、派遣地は、海岸部の久の浜、四倉、豊間、小名浜の地域に集中しました。
 各グループとも大変な作業でありましたが、幸い天候にも恵まれ、全員、けが人もなく宮崎に帰還しました。



【第1班の所属団体内訳】(20人)
JAグループ宮崎9人
宮崎県建設業協会8人
宮崎県漁業協同組合連合会2人 (中尾英樹・賛田力也)
宮崎県商工会連合会1人 (県、県社会福祉協議会から各1人同行)



【第2班の所属団体内訳】(20人)
JAグループ宮崎4人
宮崎県建設業協会6人
宮崎県漁業協同組合連合会2人 (日高大輔・林大佑)
宮崎県商工会連合会1人
宮崎県商工会議所連合会2人
宮崎県中小企業団体中央会3人
宮崎県森林組合連合会2人 (県、県社会福祉協議会から各1人同行)



福島県いわき市の被害状況
 いわき市は津波による影響を中心に甚大な被害を受けており、沿岸部の数カ所では 地区全体の家屋が消失、半壊しています。

- 【被害状況】(6/12現在)
- ・死亡者数 306人、行方不明者50人、避難者数419人
 - ・住家被害26,290棟(全壊 5,704棟、大規模半壊 3,383棟など)

義援金贈呈式

漁 連は平成23年7月7日、宮崎県が東日本大震災の被災地・被災者支援のために設けた「東日本大震災被災者等支援基金」へ1千万円を寄付した。
 寄付金は県内各漁協・組合員から集めたものである。
 贈呈式は知事室で行われ、丸山会長が「被災地はいまだにがれき等が散乱し、戦後のような状況である。わたしたち漁業者にできることがあればいつでも声を掛けてもらいたい」とあいさつし河野知事へ目録を手渡した。
 河野知事は「息の長い取組が大切だと感じた。基金で少しでも被災地を元気づけたい」と応えた。



人事異動

平成23年7月1日付

氏名	新規採用
坂元 岳	日南製氷第1工場

平成23年度第1回監事会

漁 連は、6月20日(月)水産会館漁連会議室において、平成23年度第1回監事会が開催された。なお、代表監事には、近藤申間市東漁協長が選任された。

附随事項

第一号議案

代表監事の選任に関する件

第二号議案

監事会規則第2条第1項に規定する順位に関する件

第三号議案

監事の報酬の配分及び支給方法に関する件



平成23年度第2回理事会

漁 連は、6月20日(月)水産会館第一中研修室において、平成23年度第2回理事会を開催し、次の事項について報告及び議案審議を行い、全議案とも原案通り承認された。なお、代表理事会長には、丸山会長、専務理事には、妹尾専務が再任された。

附随事項

第一号議案

代表理事会長の選任に関する件

第二号議案

専務理事の選任に関する件

第三号議案

定款第46条第2項に規定する順位に関する件

第四号議案

理事の報酬の配分及び支給方法に関する件

第五号議案

理事の退任慰労金の支給金額、支給時期、支給方法に関する件

第六号議案

借入金の申込みに関する件

第七号議案

石油類の価格改訂に関する件

冷汁・シイラ天ぷらフェア

魚 乃里「ぎょれん丸」では、月替わり定食として8月は「冷汁・シイラ天ぷら定食」をご提供します。

夏真っ盛りとなり、食欲が落ちる季節です。

冷汁は、新鮮なしゃきしゃきしたきゅうりの輪切り大葉の細切り、天ぷらは、日南市漁協で水揚げされたシイラを原料として使っています。これにぎょれん丸自慢の刺身を付けまして1,200円で提供させていただきます。



JF宮崎漁連直営店

ぎょれん丸

魚乃里

宮崎県水産物 ブランド品が 食べたい!

【営業時間】
【直売所】 月～木 AM10:00～PM5:30
 金～日 AM10:00～PM8:00
【レストラン】
 昼の部 月～木 AM11:00～PM2:30 (昼のみ)
 夜の部 金～日 AM11:00～PM2:30
 PM 5:00～PM8:30
【問い合わせ】
 〒880-0858 宮崎県宮崎市港2丁目6番地
 TEL.0985-28-6114

FISHERIES CO-OPERATIVE

環境・生態系保全活動について — 増殖部 —

はじめに

海 中の森である藻場は、魚介類の産卵・生育の場であり、海水を浄化する機能もあります。ところが、この藻場が衰退し、何年も回復しない現象があります。これを「磯焼け」と呼びます。

磯焼けになると海底は砂漠のような景観となり、磯根資源の減少はもとより、漁業生産にも影響を及ぼします。このような中で、漁業者自らを主体とする藻場回復に向けた取組を支援する環境・生態系保全活動支援事業が平成22年度から県内各地で実施されています。今回は延岡市北浦町での漁業者の取組事例をご紹介します。

取組内容

延岡市北浦町にある「ハイの浜」はクロメ(写真1)、ホンダワラ(写真2)、アマモ(写真3)が生育する場ではあるものの、岩礁には植食動物であるウニ類が高密度に生育し、明らかにウニの摂食量が海藻の生産量を上回っている状態でした。



写真1 クロメ

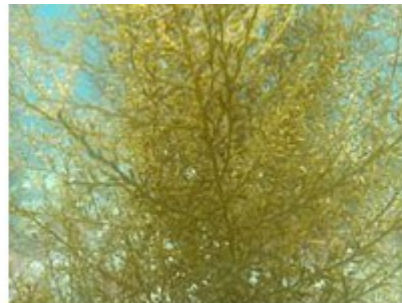


写真2 ホンダワラ



写真3 アマモ

そこで、ウニを駆除することによって、ウニの摂食量と海藻の生産量とのバランスを取り戻そうとしました。

活動は平成22年11月15日から3日間で漁業者27名でウニ類12万個を除去しました(写真5)。

すると、あたり一面ウニだらけであった海底からウニがほとんどいなくなりました。

その後の観察では、平成23年3月にはウニの良好な餌となるフクロノリやクロメの幼体、ワカメなどが確認できました(写真6)。



写真4 高密度のウニ



写真5 活動風景



写真6 除去岩礁の景観



また、海藻が増えただけでなく、除去後、約8ヵ月後にウニ類を除去した岩礁に生育するムラサキウニと除去していない岩礁のムラサキウニとを比較すると身入りも色も明らかに除去した岩礁に生育するウニが良いことがわかりました(写真7, 8, 9)。

今回実施したウニ除去によって、海藻の増加以外にも商品価値のなかったウニが商品価値のあるウニに、すなわち、ウニ漁場の回復にもつながると考えられました。



写真7 除去区ウニ



写真8 非除去区ウニ



写真9 左が除去区、右が非除去区の身の色

終わりに

北浦ハイの浜の事例ではウニ除去を行うことによって、藻場の造成を試みましたが、どこの地域でもウニを除去すれば藻場が回復するというものではありません。

地域によって、藻場造成の方法は異なってくると思います。たとえば、近くに母藻がない場合は母藻を設置し、いわゆる「種まき」をする必要があります。

また、植食動物はウニだけではなく、アイゴ、イスズミ、ブダイなどの魚類も存在します。これらの植食性魚類の食圧が高い地域ではウニ除去を行うだけでは藻場造成は難しいと思われます。ただ、そのような地域でもウニ密度が極端に高い場合は今回の事例のようにウニ密度を適正にして、ウニの身入りを向上させることは出来ると考えられます。

今後も漁業者の方々を中心に、漁協、行政が一帯となった、藻場の回復に向けた取組を支援したいと考えています。

6月の動き(県関係)

2日

第349回海区漁業調整委員会

忘れてませんか? あなたの命を守る大切なもの。

救命衣、着用 していますか?

宮崎県漁業就業者確保育成センター 宮崎県漁業協同組合連合会

資材の購入は系統へ
漁協・漁連・全漁連

お問い合わせ先
宮崎県漁業協同組合連合会業務部 TEL 0985-28-6111



宮崎県演習場対策協議会通常総会

6 月20日、水産会館大研修室において宮崎県演習場対策協議会通常総会が行われ、全議案とも異議無く承認された。

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成22年度漁業損失補償金・見舞金決定について 2. 協議会への経費分担金の承認について 3. 宮崎県漁政対策委員会への寄付金の承認について 4. 平成22年度収支決算書の承認について | <ol style="list-style-type: none"> 5. 平成23年度収支予算書(案)の承認について 6. 役員改選について 7. その他 |
|--|---|

宮崎県水難救済会通常理事会・総会

6 月29日(水)水産会館大研修室において、平成23年度宮崎県水難救済会通常理事会・総会が行われた。議案は次のとおりで、全議案とも異議無く承認された。

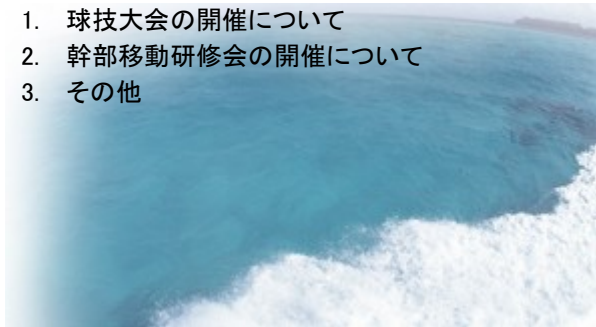
- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成22年度事業報告について 2. 平成22年度収支決算報告について 3. 平成22年度会計監査報告について 4. 宮崎県水難救済会の再編について | <ol style="list-style-type: none"> 5. 平成23年度事業計画(案)について 6. 平成23年度収支予算(案)について 7. その他 |
|---|--|

宮崎県漁協青壮年部長・事務担当者会議

6 月16日(木)水産会館第1研修室において、平成23年度漁協青壮年部長・事務担当者会議が行われた。

議案は次のとおりで、球技大会については、本年度は開催せずに係る費用を東日本大震災の被災地への義援金に当てる案が出されたため、改めて事務局がアンケートを行い、その結果を持って判断することとなった。また、幹部移動研修会の開催については、特に異議なく承認が得られた。

1. 球技大会の開催について
2. 幹部移動研修会の開催について
3. その他



6月の動き

8日	第2回漁政対策委員会	20日	宮崎県演習場対策協議会通常総会
8日	お魚料理講習会(都城農業高等学校)	20日	第1回監事会
9日	近海まぐろ漁業問題検討会	20日	第2回理事会
16日	漁協青壮年部長・事務担当者会議	22日	お魚料理講習会(高城高校)
20日	第62回宮崎県漁業協同組合連合会通常総会	29日	宮崎県水難救済会通常理事会・総会
20日	定期組合長会議		